

## 令和3年度 ピアサポートセンタひといろの実 事業報告

### ■「グループホーム杜の灯り」に関する報告

定員 11 名 入所・退所の主な動向

- ・令和3年5月10日 60代男性入居
- ・令和3年8月17日 50代女性退居（一人暮らしへ移行）
- ・令和3年10月31日 40代男性退居（入退院を繰り返し、GHでの支援は難しいと判断した為）
- ・令和3年12月10日 50代男性入居
- ・令和3年12月15日 20代女性入居 →満床となる。
- ・令和3年2月10日 60代男性退居（交通事故により大腿骨複雑骨折、歩行が出来るまでに回復が見込めない為）→空室1部屋となる。

月1回（毎月第4木曜日）自治会の開催により、利用者同士で日々の困り事、タバコの事、食生活の事、食事作りのお手伝い・ゴミ捨て当番の事等、多くの事柄を「利用者みんなで考えてやってみる」形が自然と生まれた。例えば、タバコを吸うことで咳が続き困っているが内科受診はしたくないと拒否を続けていた利用者が、内科受診をして咳が楽になったという間話の話を聞き受診を決意「全員まとめて内科受診」へ行くようになり、連帯感を持った中で服薬、吸引を続けている。一人なら出来ない事でも、仲間同士なら不思議と受診できるようになった。

利用者の高齢化に伴い糖尿病や生活習慣病のリスクが高まってきている。不慮の事故での退居があり、GHを卒業した後の行き先を早い段階で検討することが課題として残った。高齢の利用者に対しては、介護保険の申請、訪問看護師のサービスを利用するといった、外部とのやりとりが今後より重要になってくるだろう。

栄養士志望の学生さんの入職により、食生活の見直しやアドバイスを一緒に考えられるようになり新しい戦力となっている。

増室という目標を掲げていたが、職員の休職や体調不良により通常の勤務が難しくなり仕事内容を調整し職員全員で何とか日常業務を回す事で手一杯となった。上述した生活習慣病のリスクが高まり精神科以外の病院への受診が圧倒的に増え、業務量が増えたことも要因の一つとして考えられる。

### ■サロン活動・相談支援事業・ピアサポート支援事業（派遣）に関する報告

休止中

### ■「生活訓練事業所（多機能・共生型事業体） くらしきピアぽーと」に関する報告

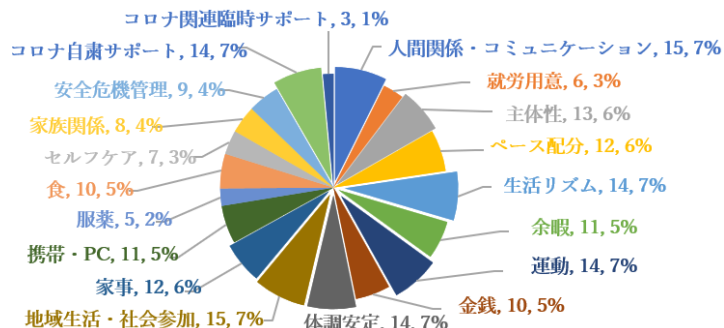
生活訓練の契約利用者数は、延べ17名。内、終結者5名。主な理由は、後見人へ移行（1名）、一般へ挑戦（1名）、生活介護へ（2名）、ボラピア制度へ（1名）。総利用延べ数は、2701名。

（2/3～生活介護の利用延数は、51名。多機能全体は、2752名。前年と比べると微減。）

オミクロン拡大から訓練場面の縮小に伴い足踏みや後退も見られた。一方で、集団を避けた支援、オンラインや所外訓練が多いことから、集団の機会は貴重で、集まった際に結束が強まる様子と、関わる方（スタッフ・利用者さん）同士が、互いに有難みを感じつつ活気ある姿が特筆となった。また、過去のトラウマ（過酷な就業や性に対するものなど多岐）を徐々に受け入れ、課題と向き合えるようになるケースが目立った。スタッフに病・傷休が続いているが、持ちつ持たれつ一丸となろうとする意識に支えられた。上半期は準備、下半期は多機能・共生化（既存の生活訓練事業・生活介護

事業・共生型地域密着型通所介護事業)の指定を受け、長期入院の方、居場所などのニーズ、コロナによる足踏み解消、また、法人の信頼が大切に築かれるよう行政と連携。また、独自のボラピア制度(OBによるピア活動)をスタート。多機能内の連携、安定した人員配置に向けて、実践を通じた段階に入った。[課題:先ずは新規事業、多機能全体の運営。]

R3年度 生活訓練 支援内訳



事業の報告に関する事項

特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
作業所の運営に関する事業	「地域活動支援センターⅢ型」機能の再構築	休止中	倉敷市	—	—	0
相談支援に関する事業	相談支援事業所の運営	休止中	倉敷市	—	—	0
障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業	グループホーム(グループホーム杜の灯り)の運営に関する	令和4年4月~令和5年3月	倉敷市	延10名	利用者13名	21,658
	生活訓練事業所・生活介護事業所(多機能・共生型事業体くらしきピアぽーと)の運営	令和4年4月~令和5年3月	倉敷市	延8名	利用者17名	16,996
	共生型地域密着型通所介護事業所(多機能・共生型事業体くらしきピアぽーと)	令和4年4月~令和5年3月	倉敷市	延6名	利用者2名	1,888
ピアサポート支援事業	ピアサポーター派遣	休止中	岡山県内	—	—	0
その他この法人の目的の達成のために必要な事業	その他この法人の目的の達成のために必要な活動	令和3年4月~令和4年3月	倉敷市	—	—	0

※支出額:決算後、正規数字に修正